

1						
(1)	エ	(2)	(X) ア	(Y) ウ		
(3)	ヒートアイランド現象		(4)	エ	(5)	エ
(6)	船は航空機に比べて、一便あたりの積載量が非常に多く、石油や鉱物などの重くて体積の大きい物資を一度に大量に運ぶことに優れている。					
(7)	使える水そのものがなくなると、街を「冷やす」ための打ち水やスプリンクラーが使えなくなり、熱中症になる人が増えてしまいます。さらに、火事から街を「守る」ための消火栓の水も足りなくなるため、一度火災が起きると大きな被害につながる危険があります。このように、生活の安全や健康を維持できなくなるという課題が起こると考えます。					

2						
(1)	ウ	(2)	ウ			
(3)	本州との間に橋が開通したことで、トラックなどによる陸路の高速輸送が可能になり、四国で生産された新鮮な野菜や果物を、関西地方などの大都市の消費地へ短時間で大量に届けられるようになった。					
(4)	ア	(5)	ア	(6)	ア	
(7)	《キャラクター名》 おへんろサン					
	《選んだテーマ》 「気候」「歴史・伝統」					
	《理由》 四国には、空海ゆかりのお寺を巡るお遍路という 1200 年以上の「歴史・伝統」があります。また、四国の瀬戸内側は年間を通じて比較的雨が少ない気候です。 四国の「気候」の特徴とお遍路という四国の文化を多くの人に知ってもらうために、おへんろサンという名前にしました。					
	《役割》 このキャラクターを通じて、四国の歴史あるお遍路文化や気候の魅力を全国に発信することで、歴史・文化体験を目的とした観光客を呼び込み、四国全体の地域活性化に貢献する役割を果たします。					

3								
(1)	産業革命		(2)	ア		(3)	高度経済成長	
(4)	ア	(5)	エ		(6)	ア		
(7)	《東京の課題》 通勤・通学時の満員電車							
	《課題が発生する理由》 「朝は都心へ」「夜は郊外へ」という移動にかたよるため、特定の路線や時間帯で混雑するから。							
	《活用方法》 スマホアプリで電車の混雑状況を事前に確認し、空いている時間やルートを選んで通勤・通学する。							

4					
(1)	エ	(2)	ウ	(3)	ASEAN
(4)	中国の作業員の月給は、東南アジア 3 国と比べて 2013 年時点から一貫して最も高く、2023 年にかけての上昇金額も大きい。そのため、中国だけに工場を置き続けると人件費が高くなってしまうから。				
(5)	ア	(6)	イ		
(7)	中国の人件費上昇や、一つの国に生産を集中させるリスクに備えて、東南アジアにも生産拠点を広げる必要性がある一方、中国は重要な輸入相手や販売市場でもあり、経済的な関係を続ける必要もあるから。				

受験番号	氏名	

吉祥寺湧水中学校 模擬入学試験問題 社会 解説資料

配点

大問	分野	配点
1	水	25点
2	四国地方	25点
3	都市	25点
4	国際	25点
合計		100点

1 水 (25点)

(1) 3点

答え：エ

弥生時代の人々は、生活や米づくりに水が必要だったため、川の近くにムラをつくりました。また、道路が十分に整っていなかった時代には、川を使って人や物を運ぶこともできました。一方、**高床倉庫は、地面から床を高くすることで湿気を防ぎ、米などを保存するための建物**です。「地面がぬかるみやすい場所の方が高床倉庫をうまく活かせた」というわけではありません。そのためエが誤りです。

(2) 各2点

答え：(X)＝ア(浄水場)／(Y)＝ウ(下水処理場)

浄水場は、川や湖などから取り入れた水をきれいにして、私たちが飲める水にする施設です。一方、家庭や工場などで使って汚れた水をきれいにして、川や海などに戻せるようにする施設が**下水処理場**です。

(3) 3点

答え：ヒートアイランド現象

都市では、地面がアスファルトやコンクリートにおおわれています。そのため、水が蒸発して熱をにがす働きが弱くなったり、建物や道路が熱をためこんだりします。

このように、都市の中心部が周辺よりも高温になる現象を「ヒートアイランド現象」といいます。

(4) 3点

答え：エ

工場では、ものを冷やしたり、洗ったり、製品をつくったりするために大量の水が使われています。

火力発電所では冷却、製鉄所では鉄を冷やすこと、製紙工場では紙をつくる工程などに水が使われます。

しかし、**石油を水で薄めてガラスをつくるわけではありません**。そのためエが誤りです。

(5) 3点

答え：エ

日本は海に囲まれているため、外国の軍隊が日本へ来るには船などで海を渡る必要があります。そのため、陸続きの国に比べると、外国の軍隊が簡単には入ってきにくいという特徴があります。

元寇でも、元の軍隊は海を渡って日本へ攻めてきました。

エでは「船の中に飲み水を積む必要がない」とありますが、長い航海では**兵士が飲む水や食料を船に積む必要があります**。その分、運べる兵士や武器にも限りがあります。したがってエが誤りです。

(6) 3点

資料を見ると、航空機は一便あたり約50～130tなのに対して、船は約5万～20万tもの貨物を運ぶことができます。

つまり船の大きな長所は、「一度に大量に運べること」です。

記述問題では、ただ「船の方が便利」と書くのではなく、**資料の数字を比べて考える**ことがポイントです。

(7) 6点

解答のポイントは2つです。

- ① 水不足によって起こる問題を、**2つ以上の観点**から考える。(3点)
- ② 「水がないから、〇〇ができず、△△が起こる」という**原因と結果のつながり**を書く。(3点)

「水がないと困る」だけで終わらず、①②の観点を満たしているかが求められます。

2

四国地方 (25点)

(1) 3点

答え：ウ

神戸市と淡路島を結んでいるのが**明石海峡大橋**、淡路島と徳島県鳴門市を結んでいるのが**大鳴門橋**です。

この2つの橋によって、神戸方面から淡路島を通して徳島県まで自動車移動できるようになりました。

(2) 3点

答え：ウ

愛媛県ではみかんなどの柑橘類、高知県では温暖な気候を利用した野菜の促成栽培、香川県の小豆島ではオリーブ栽培が行われています。

一方、徳島県の代表的な農産物には、**れんこん・すだち**などがあります。県内全体で高冷地栽培は行われていないので、ウが誤りです。なお、「高い土地の涼しい気候を利用したレタスなどの高原野菜」は、長野県などでよくみられる農業です。

(3) 3点

ポイントは、単に「便利になった」で終わらせないことです。

橋ができる→移動時間が短くなる→農産物を運びやすくなる

というつながりで考えます。

(4) 3点

答え：ア

香川県がある瀬戸内地方は、**年間を通して降水量が少ない**ことが特徴です。
そのため、水不足に備えて昔から多くの**ため池**がつくられてきました。また、香川用水によって吉野川の水も利用しています。

(5) 3点

答え：ア

空海は平安時代の僧で、中国の**唐**で仏教を学び、日本に帰って**真言宗**を広めました。
なお、イは鑑真、ウは最澄、エは行基についての説明です。

(6) 3点

答え：ア（時宗・一遍）

一遍は鎌倉時代の僧で**時宗**を開いた人物です。念仏を唱えながら踊る「踊り念仏」を広めました。

(7) 7点

この問題では、面白いキャラクターを考えることだけが目的ではありません。
解答のポイントは2つです。

- ① 四国の特徴を**2つ以上の視点**から説明する。(4点)
- ② 考えたキャラクターの役割と、その四国の特徴を**結びつける**。(3点)

これが採点基準になっています。模範解答の「おへんろサン」では、

歴史・伝統 → 四国八十八ヶ所

気候 → 瀬戸内海側は年間の降水量が比較的少ない

という2つの特徴を使っています。そして、それらを「お遍路をテーマにしたキャラクター」につなげています。

つまり、

四国の特徴①＋四国の特徴②

↓

だから、このキャラクターにした

↓

このキャラクターで四国の魅力を伝える

という流れで考えることがポイントです。

たとえば、みかんのキャラクターをつくるなら、単に「四国はみかんが有名だから」だけではなく、「温暖な気候」＋「みかんなどの農業」のように、2つの視点をつなげると採点基準を満たしやすくなります。

(1) 3点

答え：産業革命

18世紀後半のイギリスなどでは、機械を使った工業が急速に発達しました。この変化を**産業革命**といいます。

工場が増えると、そこで働く人も必要になります。その結果、仕事を求めて農村から都市へ移る人が増え、都市が発達していきました。

(2) 3点

答え：ア

明治時代以降、日本でも工業化が進み、都市に工場が増えていきました。そのため、**仕事を求めて農村から都市へ移動する人**が増えました。

ポイントは、**工業の発達→都市に仕事が増える→人口が都市へ移動する**という流れです。

(3) 3点

答え：高度経済成長

1950年代半ばから1970年代初めごろまで、日本の経済は急速に成長しました。これを**高度経済成長**といいます。

工業が発達して都市に多くの会社や工場が集まり、農村から都市への人口移動も進みました。

(4) 3点

答え：ア

都市に子育て世代がたくさん集まると、保育園を利用したい子どもの数も増えます。

ところが、**人口が増える速さに保育園の建設や保育士の確保が追いつかなければ、入りたいくても入れない子どもが生まれます。**

これが待機児童問題が起こる理由の1つです。

(5) 3点

答え：エ

都市では、狭い地域に多くの人・建物・自動車などが集中しています。そのため、大地震などが起きると、火災が燃え広がったり、道路が混雑したり、多くの人が一度に避難したりする危険があります。

一方、エの「住民が流出して高齢者ばかりになる」という問題は、**人口が減少している地域や過疎地域などで起こりやすい問題**です。問題文は「大都市に人口や建物が集中することで発生するリスク」を聞いているので、エが誤りです。

(6) 3点

答え：ア

昼夜間人口比率は、**夜に住んでいる人口に対して、昼間にいる人口がどのくらいか**を表します。100%より高ければ、昼間に外から多くの人が入ってきていることを表します。

東京都には会社や学校が多いため、周辺の埼玉県・千葉県・神奈川県などから多くの人が通勤・通学します。そのため、朝夕の電車や道路が混雑しやすくなります。したがってアが正解です。

(7) 7点

この問題では、「東京の課題→原因→デジタル技術による解決」の3つをつなげて考えることが重要です。

採点基準では、

- ① 課題が起こる原因を「人口・職業・環境・交通・防災・生活」のうち**1つ以上の視点**から説明する。(4点)
- ② その課題と**デジタル技術による解決策がつながっている**。(3点)

ことが求められています。

たとえば「満員電車」を課題にした場合、

課題： 通勤・通学時の満員電車

原因： 朝、多くの人々が都心へ移動するため、同じ時間・路線に人が集中する。

解決： スマートフォンなどで混雑状況が分かり、空いている時間やルートを選べるようにする。

と考えられます。

ここで大切なのは、**デジタル技術なら何でもよいわけではない**ことです。

たとえば「満員電車が問題だから、AIで災害を予測する」と書いても、課題と解決策がつながっていません。

なぜその問題が起こる？ → それをデジタル技術でどう解決する？

という順番で考えると、まとまりのある答案になります。

(1) 3点

答え：エ

(2) 3点

答え：ウ

川が山から運んできた土砂が河口付近に積もってできる、低く平らな土地を三角州といいます。平らで広いので工場や道路をつくりやすく、河口に近い船による輸送にも便利です。ところがウは「標高が高い山がちな地形」としています。これは三角州とは反対です。そのためウが誤りです。

(3) 3点

答え：ASEAN

ASEANは、**東南アジア諸国連合**の略称です。
東南アジアの国々が、経済などさまざまな分野で協力するためにつくられた組織です。

(4) 3点

この問題で大切なのは、「**中国は高い**」とだけ書かず、**資料の数字を比較すること**です。
2013年、2019年、2023年のいずれも中国は東南アジア3国より高いことや、月給の上昇幅が東南アジア3国より高いことが説明できると良いでしょう。

(5) 3点

答え：ア

本文からは、日本企業が東南アジアにも生産拠点を広げている一方、図からは、電気機器の輸入では**中国が大きな割合を占めている**ことが読み取れます。
つまり、「**チャイナ・プラス・ワン**」＝**中国との関係をなくす**、ではありません。
中国との関係を続けながら、東南アジアなどにも生産拠点を広げて、1つの国に頼りすぎる危険を減らそうとする考え方です。

(6) 3点

答え：イ

円グラフを見ると、地域別の売上の割合は、日本34.9%、グレートチャイナ22.1%、韓国・東南アジア・インド・豪州21.1%、欧州12.6%、北米9.2%となっています。

イについて、「グレートチャイナ」は22.1%で、「北米」の9.2%の2倍以上です。また、欧州は12.6%でグレートチャイナの売上規模の方が大きい。そのため、グラフから読み取れる内容として正しいといえます。

一方、アは「韓国・東南アジア・インド・豪州」が21.1%で、「グレートチャイナ」の22.1%を下回っています。ウも、グレートチャイナは全体の22.1%を占めており、「ほとんど価値がない」とはいえません。エは、最も売上が高い地域はグレートチャイナではなく、日本の34.9%なので誤りです。

出典：A社（株式会社ファーストリテイリング）「2025年8月期 決算サマリー」（2025年10月9日）のユニクロ事業（国内・海外）の売上収益を基に作成。

<https://www.fastretailing.com/ip/ir/news/2510091800.html>

(7) 7点

この問題で大切なのは、**東南アジアに生産拠点を置くことだけを説明する問題ではない**ということです。

採点基準では、

- ① 東南アジアへの「**分散**」の必要性を書く。（3点）
- ② 中国との「**連携・継続**」の必要性を書く。（4点）

という2点が求められています。

模範解答では、リスクに備えて東南アジアに生産拠点を広げる必要性と、重要な輸入相手や販売先である中国とも関係を続ける必要性の両面を説明しています。

つまり、

中国だけに頼る

- 何か問題が起きたときの危険が大きい
- **東南アジアにも分散する**

しかし、

中国との経済的なつながりも大きい

- **中国との関係も続ける**

という、「分散+継続」の両方を書くことがポイントです。